

c. 品質管理

表Ⅲ-7 品質管理項目

クレイグラウンドの品質管理項目

工種	試験項目	試験方法	試験基準	摘要
基盤工	コーン貫入試験 CBR試験 ブルーフローリング 盛土部	KDK S 0902準拠 JIS A1211 4 tタイヤローラ	路床面 (粘性土) 路床面 全面	必要に 応じて おこな う
	コーン貫入試験 ブルーフローリング	KDK S 0902準拠 4 tタイヤローラ	路床面 (粘性土) 全面	
下層工	ふるい分け試験 ブルーフローリング	JIS A1102 4 tタイヤローラ	3000㎡に1回 全面	〃
中層工	ふるい分け試験	JIS A1102	3000㎡に1回	〃
表層工	硬度試験	プロクターニードル	1000㎡に1回	〃

(注1) ブルーフローリング

仕上がった基盤や、路盤の表面に4 tタイヤローラまたは施工時に用いた締固め機械と同等以上の接地圧をもった車輪（ゴムタイヤ）をゆっくりと走行させて、大きなタワミがあるかどうかを調べる。

タワミが大きくて、支持力や均一性が乏しく軟弱と判断される場合は材料の入替えなど、検討し適切な処置をしなければならない。

(注2) プロクターニードル（貫入抵抗試験）

一定の太さの金属棒を地面に貫入させて、そのときの抵抗から土の堅さを判定する試験で、プロクターニードルという試験器械を用いる。貫入針は径6.5mmを使用し、地面に垂直に立て、徐々に1/2インチまで押し込む。その時の荷重（抵抗値）をポンドで表わす。

貫入速度が異なると正しい抵抗値が得られないので、一定の貫入速度を保つことが大切である。

9

表Ⅲ-8 プロクターニードル貫入抵抗標準値（クレイ舗装）

クレイグラウンドのプロクターニードル貫入抵抗標準値

競技種目	貫入抵抗値	摘要
陸上競技場	50～110 ポンド(LB)	トラックおよび助走路
野球場	30～80	芝生舗装を除く
多目的運動場	40～100	芝生舗装を除く
校庭（学校運動場）	50～90	
テニスコート	40～110	
サッカー場	30～80	芝生舗装を除く

(9) 維持管理

1) 概要

a. 整備の目的

グラウンドは平坦で適度の弾力性が必要である。その為には、路面の硬度、湿度が適当で、乾き過ぎや水溜りができなく、小砂利や異物等が混入せず、凹凸がないことが要求される。実際のグラウンドは絶えず風雨にさらされ、侵食され、あるいは自然現象や、はげしい使用によってなんらかの変化が起きている。これを絶えず観察し、本来の精度を維持確保する活動が“グラウンド整備”である。

自然現象による表層の変化。

風による影響……………表土の飛散

……………グラウンド周辺への砂塵公害

雨による影響……………表土の流出

……………表層硬度の低下

霜凍上による影響…表土硬度の低下

…中層の表層への混合

b. 整備の種類

日常行われる整備は、清掃、除草、散水、転圧等、簡単な作業とかき起し、穴埋め、地均し等、軽度の補修である。

季節的な作業には、夏季乾燥時の水分補給、梅雨期および台風による大雨後の補修と、冬季の霜害防止および凍上した場合による春季補修が必要となる。